

2019/6/21

神代植物公園

## 植物多様性センターの「ハマナデシコの花」

伊豆諸島ゾーンの海岸砂地エリアでハマナデシコの花が咲いています。ハマナデシコは海岸の砂地や礫地などで育つナデシコ属の多年草です。砂浜で群生している姿が目立ちますが、岩の隙間でもたくましく育つ植物です。多肉質で光沢のある厚い葉は、海岸の厳しい日差しと風に対応するため、表面のクチクラ層を発達させ、水分蒸発を防いでいます。開花期が長く、初夏から秋まで咲き続けますので是非ご覧ください。



直径約1.5cmの紅紫色の花が、茎の先に集まって咲く。



かわいらしい花が昔から愛され、多くの園芸品種が作られている。



対生している2枚の葉は基部で合着して茎を囲む。



繁殖力旺盛で、環境が合えばこぼれた種でどんどん増える。